

1 はじめに

宮崎県中小企業家同友会が1992年に123名で創立してから27年間、様々な同友会活動が繰り広げられています。

一方、国内外の景気動向への懸念が高まるなか、宮崎県の景況全体は弱含みが続いており、消費税増税による個人消費の落ち込み、少子高齢化による社会保障や人手不足、過疎化の問題など様々な地域課題が生じています。さらに、5割を超える経営者が承継に備えることができず、後継者問題が私たち中小企業家の前に立ちまわっています。

そのような状況下において私たちは、本日165名（2019年11月1日現在）の仲間が集い宮崎県中小企業家同友会青年部会（通称「青年部」）を設立する運びとなりました。

経営者であることに年齢や性別などに差はないといえ、経験の浅い起業家や後継者は独特の悩みや課題をかかえています。さらに、同友会運動の立場からは、運動を次の世代に引き継ぎ、すぐれた若いリーダーをたくさん育てなければなりません。

私たちは、青年部だからこそできる活動をもって企業や地域の抱える課題と向き合い、「青年経営者としての経営姿勢の確立」「強靱な企業をつくる学びと実践」「本音でぶつかり学び合う仲間づくり」で次代の宮崎同友会の運動を担う青年経営者の仲間を増やし、強靱な組織の礎を築いていきます。

「同世代から違いに学ぶ」学び合いには、楽しさ、悔しさ、心強さが溢れています。真正面から向き合える同世代だからこそ、本音でぶつかり合い、本音を言い合い、切磋琢磨して成長していけます。その先には共に学びあう一生の仲間ができると確信しています。

宮崎で共に学び合う青年経営者の仲間の皆さん、青年部活動を通して共に前進し、未来へ挑戦していきましょう！

2 青年部会員のあるべき姿

宮崎同友会青年部 活動理念

魅力リーダーになろう！

学びを共に実践しよう！

地域に仲間を増やそう！

3 第1期 スローガン

「共に挑戦 未来へ前進」

4 第1期 活動方針（第1期：2019年11月30日～2021年3月31日）

①主体者となり、組織をけん引していく

魅力的なリーダーをめざします。

一人ひとりが青年部活動を自分事として捉え、主体的に役を担い組織づくりを学び実践します。

同友会運動および青年部活動は企業経営と不離一体と考え、定期的に同友会の歴史と理念を学ぶ機会を設けながら、同友会のめざす魅力的なリーダーの在り方につながる活動を実施します。

②幹事会および青年部役員研修会の開催

毎月、青年部幹事会を開催します。幹事会が中心となり同友会の歴史、理念、考え方を学び合う機会をつくります。

また青年部活動以外の同友会活動（支部や委員会の活動）にも積極的にに関わり、それぞれの活動から得た学びを青年部活動や自社の経営にいかします。

③リーダー研修の開催

同友会では、リーダーは常に学ぶ先頭に立ち、同友会理念を実践していくことが大事だとされています。同友会青年部会員はそのようなリーダーとして、同友会活動を通して理念を実践していくことが必要です。リーダー研修・グループ長研修を定期的に開催し、自社の経営や同友会を運営する上でのリーダー像やグループ長のあるべき姿について学び合います。

組織をけん引するリーダーには、ビジョンを掲げ、理念を成文化し、仲間たちの力を引き出しまとめ、責任を自覚し役を担うという在り方が求められます。グループ長研修と連動して、魅力的なリーダーの在り方を学ぶ研修会を実践形式で行い、学び合います。

同友会は学習と交流の場としての例会を活動の中心に置き、グループ討論を重要視しています。同友会らしい学びを

得る例会にするためには、グループ長の力量を高めることが必須です。グループ討論の魅力を全参加者に感じさせることができるグループ長を育成すべく学び合います。

③全国行事で学び合う

青年部会員同士で積極的に呼びかけあい、全国行事や県外行事へ参加し学びと刺激を共有します。全国の志を同じくする仲間との交流を通じて、一同友会ではできない大きなスケールと広い視野から学ぶことができます。また、全国の会員とネットワークを構築することも可能です。

学びを持ち帰り、自社や同友会会員企業に共有し向上と発展に役立けます。

(2) 経営者としての基礎を学び、

数字で語り合う風土をつくります。

会社経営に必要なベーシックな知識と実践的なスキルを、具体的な数字をもとに学び合います。会員それぞれの実際の事例や数字をもとにした討論により、生きた学びから実践につなげます。

①年3回(4か月に1回程度)の例会開催。

丁寧な例会づくりを通してPDCAの実践を学びます。

例会のつくり込み、開催、振り返りを丁寧に実践し、学びを深め経営者としての資質を高めます。

特に下記に注力して例会づくりを行っていきます。

- ・青年経営者に求められる「リーダー論」、「事業承継」、「雇用・市場創造」等をテーマにし、原則として青年部対象会員が報告する場を作ります。
- ・県外の青年経営者を報告者に招く機会を検討し刺激を共有します。
- ・例会および例会後の懇親会ともに1か月、2か月、3か月前シートを確認し合い、計画を綿密に立て実行します。
- ・例会では青年部会員の3割の青年部対象者の参加を目標の基準とし、開催場所や時期とともに、座長の提案をもとに幹事会でその都度確認していきます。
- ・例会開催後には、例会振り返り会議を開催し、座長、室長、グループ長が提出した振り返りシートをもとに活動を振り返り、参加者の経営課題を把握し、次の例会に繋げていきます。

②経営戦略模擬会議

例会とは別に会員の取り組み事例を発表する機会を設け、模擬会議に参加した会員が模擬役員として意見交換を行い、戦略に特化した学び合いの機会をつくります。

- ・自社の戦略はこれからの市場に求められるのか、雇用創造につながるかを学び合います。
- ・利益を生み出し企業経営を持続的に発展させていく戦略を学び合います。
- ・経営戦略を学び合い、「経営者基礎講座」、「経営指針をつくる会」の受講に繋がります。

(3) 互いを知り合い、

経営を学び合う地域の青年経営者を増やします。

未来の世代へつないでいくため、地域のことを本気で考え学び合う仲間を増やし、持続可能な地域をつくります。そのために、それぞれの会社、環境、めざす姿を深く知り合い、共有し、一生の仲間ができる場をつくります。

①宮崎同友会青年部を感じる会(青年部オリエンテーション)

ゲストや新規入会者、青年部にこれから関わる会員に向けて青年部活動を説明する場を設け、青年部を知り、お互いを知り合い、共に学び合う仲間づくりのためのきっかけとします。

②懇親行事の開催

定期的に親睦を深める行事を開催し、遊びにも全力で取り組みます。

③会員訪問 会員増強活動

定期的に会員訪問を実施してお互いを知り合い、また仲間づくりを推進し、今期中に20名(青年部165名の約12.5%)の新規入会数(青年部対象者)をめざします。

④青年部活動の発信(SNS・青年部だより など)

会内外に青年部活動を発信し、会員の活動参加を推進していきます。

⑤地域に残る人材、青年経営者をつくる活動

地域に若い働き手を残し、また地域を盛り上げる起業家をめざす若者を増やすためにも、子供たちに向けた我々宮崎の中小企業の仕事を体験し知ってもらい共感してもらい共感してもらう機会をつくるべく、青年部が主催する主に子供に向けた仕事体験イベントの開催を検討します。

地域の子供に対するアプローチと共に、地域の方々へ宮崎同友会青年部の存在を知ってもらい仲間をより増やすきっかけにもなるよう大きくPRしていきます。